

平成30年度

**3** 月開講

**求職者支援訓練コース案内**

【 4-30-45-02-14-0190 】

実践コース	<b>フードビジネス科</b>	定員	<b>15名</b>
-------	-----------------	----	------------

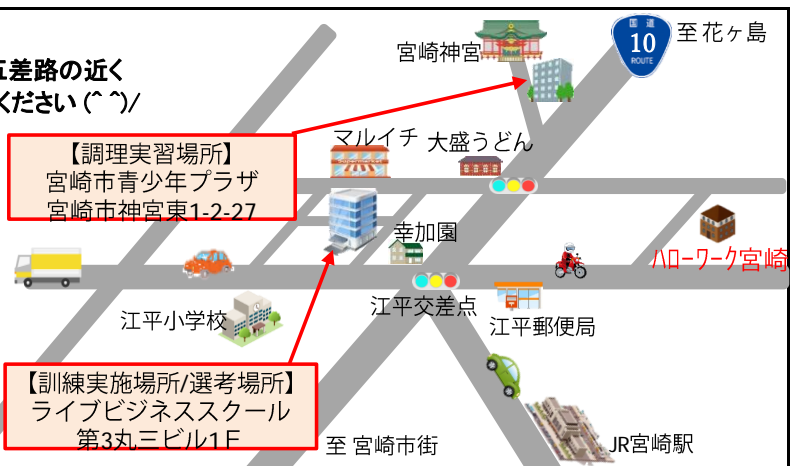
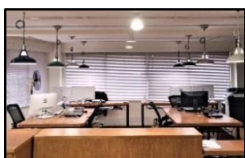
受けることができる方	※求職者支援訓練を受講できる方は、「ハローワークにおいて訓練が必要であると認められること」等の要件を満たす方です。 ※要件は裏面上部をご確認ください。		対象者の条件	特になし
訓練期間	平成31年3月27日(水) ~ 平成31年9月26日(木)		訓練時間	9:00~15:30
訓練内容	食の安全、食の歴史・社会・法律、食材の知識、調理の科学、健康と栄養、食総論、フード原価計算・損益分岐点、カフェ店舗マネジメント、安全衛生、就職支援、レシピ献立作り、フードマネジメント実践、フードマーケティング実践、玄米穀菜食実践、パソコン文書作成基礎演習、パソコン表計算基礎演習、プレゼンテーション基礎演習、プレゼンテーション応用演習、レストランサービス実践、企画調理実習、実務調理実習、企業実習、職場見学、職業人講話			
訓練目標	食品業、飲食業等のフードビジネスに関するスキル習得及び食品販売マーケティングやブランディングを行えるスキルを身に付け、早期就職を目指す。			
訓練修了後に取得できる資格	フードコーディネーター3級 コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級 コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級 PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 ※すべて任意受験	就職を想定する職業・職種	調理補助者 給食調理人	
受講者の負担費用	10,000円(テキスト代) 5,000円(エプロン・コックコート代) ※調理実習場、職場見学先、企業実習先への交通費及び衛生検査代 実費	資格受験費用(任意受験)		

募集期間	平成31年1月9日(水) ~ 平成31年3月1日(金)			
申込書提出先	ライブビジネススクール(下記訓練実施施設と同じ)			
選考方法	面接、筆記試験	選考日	平成31年3月8日(金)	
選考時の持ち物	筆記用具	結果通知日	平成31年3月15日(金)	
選考場所	ライブビジネススクール(下記訓練実施施設と同じ)			

訓練実施施設	ライブビジネススクール 〒880-0051 宮崎市江平西一丁目2番27号 第3丸三ビル1階 TEL:0985-71-6287 担当:島高、神山			
駐車場の有無、台数、料金	有 (台数・料金等) 8台、6,000円/月(希望者多数の場合は抽選となります。)	定期券割	宮交	

【訓練実施場所・選考場所】

場所はハローワーク宮崎から車で5分の江平五差路の近く  
随時、見学を実施しています。お気軽にお越しください(^ ^)/



【調理実習場所】  
宮崎市青少年プラザ  
宮崎市神宮東1-2-27

【訓練実施場所/選考場所】  
ライブビジネススクール  
第3丸三ビル1F

※求職者支援訓練を受講できる方は、下記の全ての要件を満たす方です。

- ① ハローワークに求職の申し込みをしていること
- ② 雇用保険被保険者でないこと
- ③ 労働の意思と能力があること
- ④ ハローワークにおいて訓練が必要であると認められること  
(ハローワークで職業相談を受け、現在有する技能、知識等と労働市場の状況から判断して、就職するための職業訓練を受講することが必要と判断されること)

■求職者支援訓練を受講する方は、就職支援措置の実施に当たるハローワーク職員の指導又は指示に従うとともに、自ら進んで、速やかに職業に就くように努めなければなりません。

科目(職業能力開発講習においては項目)		科目の内容(職業能力開発講習においては科目名)				訓練時間							
入校式、オリエンテーション、修了式		入校式(1H)、オリエンテーション(2H)、修了式(3H)											
職業能力開発講習	ビジネステクニック												
	ビジネスヒューマン												
	就職活動計画												
	職業生活設計												
学 科	食の安全	食の安全、食中毒とは、食中毒とその予防、食中毒の種類、食品添加物食品の識別法				24時間							
	食の歴史・社会・法律	食の歴史、日本の食文化、世界の食文化、食文化の伝承、食に関わる法律、公衆衛生学(衛生統計、環境衛生、日本の栄養状況を知る)				36時間							
	食材の知識	食品学について、食品の特徴と性質、食品の加工と貯蔵、食品の表示				12時間							
	調理の科学	調理の目的、調理の種類、調理操作と技術、調理科学、調理施設と設備				18時間							
	健康と栄養	栄養とは、栄養素の働き、栄養生理、健康と栄養、病気と栄養				18時間							
	食総論	調理理論、食品衛生学、食文化、公衆衛生学、食品学、栄養学のみ				24時間							
	フード原価計算・損益分岐点	飲食店の原価計算、損益分岐点				12時間							
	カフェ店舗マネジメント	カフェの知識、カフェの種類、コンセプトづくり、カフェブランディング、効果的なPR術、カフェ運営方法				24時間							
	安全衛生	安全衛生とVDT作業、職場で起こりうるリスク、コンプライアンス				3時間							
	就職支援	履歴書・職務経歴書の書き方、ジョブ・カード概要説明、面接指導				18時間							
実 技	レシピ献立作り	献立作成の方法、カロリー計算方法、テーブルマナー、テーブルコーディネートの仕方				30時間							
	フードマネジメント実践	企画書づくり、店づくりの実践(顧客管理、帳票整理等)				18時間							
	フードマーケティング実践	食に関するマーケティング実践、企画、スライドの作成、プレゼンテーションの実施				24時間							
	玄米穀菜食実践	玄米穀菜食材の選び方、玄米穀菜食の作り方				24時間							
	パソコン文書作成基礎演習	文字入力、文書作成、表の作成、文書の編集、ワードアート、図形の作成				24時間							
	パソコン表計算基礎演習	SUM関数、COUNTA関数、表示形式、配置、フォント書式、行列の幅、複数シートの操作、グラフの作成、データベースの利用				24時間							
	プレゼンテーション基礎演習	プレゼンテーションの作成、図形やSmartArtグラフィックの作成、図・クリップアートの挿入、特殊効果の設定				12時間							
	プレゼンテーション応用演習	プレゼンテーション資料制作、プレゼンテーション構想・準備・実施・評価				18時間							
	レストランサービス実践	料飲一般、レストランサービス作業				24時間							
	企画調理実習	郷土料理、介護食、エコクッキング、バランスの摂れた食事				36時間							
	実務調理実習	日本料理、イタリア料理、フランス料理、パン・お菓子作り				72時間							
	企業実習		実施しない	<input checked="" type="checkbox"/> 実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。		84時間						
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	宮崎の野菜、コーヒーの美味しい淹れ方、日本茶の美味しい淹れ方、フードビジネスとは、求める人材、仕事への想い、仕事とは、発酵食品とは、マクロビオティックとは 3時間×9回				27時間						
【職場見学】		食材の生産現場・職場の環境、テーブルコーディネート・盛り付け・レストラン接客マナー 3時間×2回				6時間							
訓練時間総合計	612時間	職業能力開発講習	0時間	ビジネステクニック	0時間	ビジネスヒューマン	0時間	就職活動計画	0時間	職業生活設計	0時間	職場見学等	0時間
		学 科	189時間	実 技	306時間	企業実習	84時間	職場見学等	33時間				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する。											
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	テキストや自社作成プリントを使い、受講者が段階的にスキルを身に付け、就職を目指してもらおう工夫をしている。											
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	受講者の習得状況を講義毎に確認し、基準に満たない場合は、個別フォローをしていく。また、放課後にも就職相談等に対応できる体制をとっている。											
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練開始時刻前に朝礼、訓練修了時刻後に終礼を行います。</li> <li>・訓練の一環として日直および掃除当番等があります。</li> <li>・キャリアコンサルティングを放課後30分程度行います。(訓練期間中一人3回)</li> <li>・修了後に取得できる資格(任意受験)については、各自が受験した試験に合格することにより取得できます。</li> <li>・調理実習は、宮崎市青少年プラザ内で実施します。</li> </ul>												

◎訓練受講申込みまでの手続き

- ①求職申込み・制度説明 ○ハローワークに求職申込みを行い、求職者支援制度の説明(職業相談)を受けてください。
- ↓
- ② 訓練コースの決定 ○上記を含めハローワークでの2回以上の職業相談を経て適切な訓練コースが決まりますので、受講申込書などの必要書類を受け取ってください。(原則、初回の職業相談時においては、受講申込書などの必要書類は受け取れません。)
- ↓
- ③ 訓練の受講申込み ○ハローワークの窓口で受講申込みの手続きを行ってください。手続き完了後、受講申込書に受付印が押されます。○その後、ご自身で受講申込書を、募集期間内に申込書提出先に提出してください。(募集期間、申込書提出先は表面をご覧ください。)

※訓練が必要でないハローワークが判断した場合は、訓練受講申込みは出来ません。

◎ 職業訓練受講給付金について

★職業訓練受講給付金には一定の支給要件があります。支給を希望される方は、求職者支援制度の説明を受ける時にお申し出ください。